

広見通信

金沢市立野町小学校
学習指導委員会
平成20年9月18日発行
NO. 16

1 事後研で話し合われたこと

2年「だいじなところに気をつけて読もう

ー サンゴの海の生きものたちー

(1) 学習問題について

「どんな生きものたちが、どんなかかわり合いをしているのでしょうか。」という筆者の問いを受けて、本時の学習問題を設定したのはよかった。

→2年生のこの単元で初めて全体を通した「問い」の文章に出会う。しっかりと型を教える単元である。「こうして」「このように」の接続語のついたまとめの段落に気をつけてその答えを具体例と結び付けて読み取ることが大切である。

(2) 子どもの発言を生かす教師の働きかけ

P: 「こうして イソギンチャクとクマノミは、たがいに守りあっているのです」のところでわかりました。

T: 「あなたの言いたいかかわり合いは何なの？」

P: 「？」

※P1の発言は書いてある場所を答えているので教師の問いに無理があった。

T: 「どこに書いてあった」

と、問うことで、すべての子どもが話せるような学習の場作りができたと思う。子どもの言わんとすることに寄り添った教師の受け止め方が必要。

(3) 主述の関係を読み取るために

5段落の主述は読み取りにくい。

6段落の2文目をキーセンテンスとして、この1文の主述の関係を押さえることが大切

※ 学習問題にそって読み取りをする場では、押さえるべき言語事項を1つにしぼった重点指導をすることが大切である。

(4) 「だいじなところに気をつけて読もう（習得→活用）」とはどういうことか

① 4・5・6段落で「まとめて書いてあったのはどこ」→「6段落の3文目」

「詳しく書いてあったのは」→「5段落・6段落の1・2文目」

この読みを活かして、「次はどうか」とホンソメワケベラを読んでいく

② 5段落 イ→ク を守る
6段落 ク→イ を守る

説明の順序がどちらも同じ

8段落 ホ→大 にとって役立つ
9段落 大→ホ にとって役立つ